

面積:213,096平方キロ
(日本の本州より若干小さい)
(全米50州中15位)
人口:2,853,118人
(2010年国勢調査)(全米33位)



カンザス州概要

平成23年1月現在
在シカゴ総領事館

政 治

【州政治】

1. 知事:サム・ブラウンバック
(Sam Brownback)(共)
2011年1月就任, 現在1期目
2. 議会構成:二院制(10年選挙結果)
上院議席数40 民主党8 共和党32
下院議席数125 民主党33 共和党92
3. 内政状況:
カンザス州は伝統的に共和党が強く, 大統領選では1968年以降共和党候補が勝利している。
2011年1月, 共和党のブラウンバック知事が就任。
州は8年振りに共和党の知事を迎えることとなった。
同知事は連邦上院議員を務めた知名度も活かし,
2010年の選挙戦を優位に進め, 民主党候補を圧倒して勝利を収めた。
上下両院とも共和党が優勢を占める州議会とともに,
今後, 同知事は規制緩和, 減税等, 小さな政府の政策をとっていくと予想される。

【連邦政治】

1. 大統領選挙人数:6名
2. 2008年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率56.6%)
3. 連邦上院議員
パット・ロバーツ(Pat Roberts)(共)
ジェリー・モラン(Jerry Moran)(共)
4. 連邦下院議員(議席数4名)
共和党4名

経 済

【州経済】

1. 主要産業
・農業:穀物(冬小麦・ソルガム等), 畜産(牛)
・製造業:自動車, 航空機, 食品加工業等
2. GDP:1,249億ドル(2009年)
3. 1人当たり個人所得:39,263ドル(2009年)
4. 失業率:6.8%(2010年12月)
5. 輸出額:8,917百万ドル(2009年)
6. 輸出品目:輸送用機械, 加工食品, 化学製品,
一般機械
7. 輸出相手国:
カナダ(23%), メキシコ(14%), 日本(7%),
ドイツ(4%), 英国(4%), 中国(4%),
ブラジル(3%)
8. 予算:(2009年)(出典 U.S. Census Bureau)
歳 入:11,655百万ドル
歳 出:15,832百万ドル
累積赤字:5,857百万ドル
9. 経済状況
カンザス州は, 小麦生産で全米第1位の生産量を誇るとともに, ネブラスカとともに, 中西部を代表する肉牛生産州である。製粉・食品加工等の農畜産物関連事業の他, ウィチタを中心とした航空機産業が盛んであり, 特に小型自家用機生産では全米一を誇る。

【対日経済】

1. 対日輸出額:624百万ドル(2009年)
2. 主要輸出品目:加工食品, 輸送用機械, 化学製品, 一次金属製品
3. 日系企業の進出数:34事業所(2009年10月現在)

日本との関係

1. 全般
東京に州政府事務所が設置されており, 対日貿易促進及びカンザス州への投資促進に努力している。
2. 要人往来
04年9月にはセベリウス知事が, 07年9月にはパーキンソン副知事が, 日米中西部会出席のため訪日。
3. 文化, 広報関係:
米国中部日米協会(カンザスシティ)が活発に活動しており, 2012年には設立50周年の佳節を迎える。同協会は, 毎年秋に5000人規模の日本祭を開催。
ローレンス市(平塚市と姉妹都市)にあるカンザス大学東アジア研究学部では, 日本関係講座がある。また, マンハッタン市にあるカンザス州立大学には, 世界で唯一のパン学科があり, 日本の企業関係者も留学している(同校は食肉研究, 園芸療法の研究でも知られている)。
4. 在留邦人数(2011年1月18日現在)
1,164人
5. 姉妹都市関係(3)
小美玉市(旧美野里町)(茨城県)—アビリン
平塚市(神奈川県)—ローレンス
近江八幡市(滋賀県)—レブンワース